









# 観光DXの推進

~デジタルスタンプラリーによる県内周遊促進とデータ活用の取組~

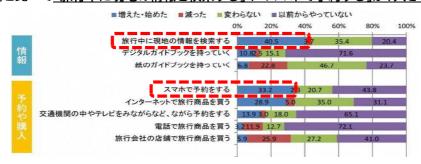
スポーツ・文化観光部 観光交流局 令和5年11月27日



#### 観光DXの必要性

#### ◆ デジタル化による旅行スタイルの変化

3年前と比べて「旅行中に現地の情報を検索する」や「スマホで予約する」が、大きく増えている。





典:JTB総合研究所 「新しい技術やサービスの広がりとライフスタイル・ 旅行に関する調査」(2018年6月)

#### ◆ 旅行ニーズの多様化

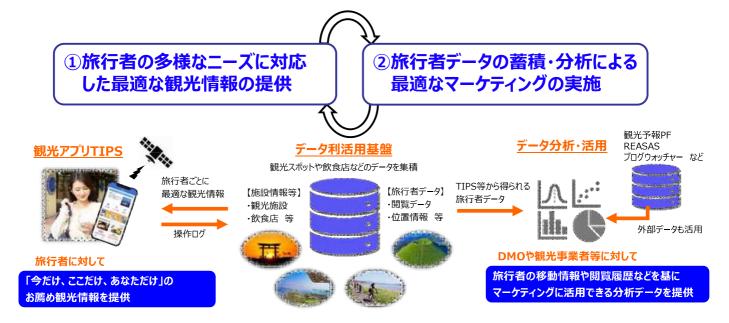
スマートフォンの普及 ワーケーション キャンプ 個人旅行>団体旅行 非接触·非対面 体験·感動>消費 SNS・シェアリング サステナブル 全国旅行支援

多様な旅行ニーズに対応したサービスへの転換が必要

カンと経験に頼らない客観的なデータに基づく経営(デジタルマーケティング)が求められる。 データを収集・分析し、共有することで、大きな価値が生まれ、その価値を社会に分配することが必要

### ◆ 観光デジタル情報プラットフォーム

- ・旅行者の属性や嗜好、位置などに応じた最適な情報提供とともに、取得した旅行者データを分析することで 事業者のマーケティングに活用できる仕組
- 「データ利活用基盤」に情報を集約し、アプリ等で発信・収集し、データ活用を図る。



#### SHIZUOKA TRAVEL STAMP COLLECTING

2

# 静岡県公式観光アプリ「TIPS」

◆「今だけ、ここだけ、あなただけ」のおすすめの観光情報を提供







<u>多言語化対応</u>

## 観光アプリTIPSイベント「しず旅スタンプラリー」

- アプリを使った周遊促進と、収集された旅行者データの活用を図るため、「しず旅スタンプラリー」を開催
- 今和4年度に実証実験として2ヶ月間開催し、令和5年度は規模・期間を拡大して開催 (9/14~R6.2/29)
- ① 観光アプリTIPSをダウンロード



② 県内を周遊しスタンプをGET
⇒スタンプをTIPSポイントへ変換

Aポットは県内100ヶ所以上

③ TIPSポイント利用してお買物



ポイントが使える加盟店は県内300店舗以上

④ 収集した旅行者データを分析・活用



分析レポートを参加スポットや加盟店へ還元

項目	<b>令和4年度</b> (R4.12.1~R5.1.31)	<b>令和5年度</b> (R5.9.14~R5.10.31現在)
アプリ新規ダウンロード数	23,080件	<u>10,525件</u>
スタンプラリー参加者数	3,275人	<u>4,700人</u>

# 地域等と連携したTIPS利用の拡大

- ・ 今年5月には、河津町と連携し、TIPSスタンプラリー機能を活用したイベントを開催
- さらに、今年9月以降、他所属とも連携しTIPS上で様々なスタンプラリーを開催し、利用者の拡大を図る。
- ◆河津町×TIPS「地域限定スタンプラリー開催」 河津町で開催されたトレイルレース参加者の 町内周遊を図ることを目的に開催

(レース日程:R5.5.28 スタンプ ラリー期間:R5.5.22~27)

○スタンプラリー参加者:191名(レース参加者208名)





4

- 観光分野におけるデジタルマーケティング推進に向けた取組を実施中
- ・ 令和5年度からは、県内市町へのデータ活用伴走支援も開始し、全県での観光DX実現を目指す。

年度	取組内容	活用データ
3	◆観光データ分析セミナー 観光におけるデジタルマーケティングへの理解を深める ことを目的として開催 ○参加者:約200名(市町、観光協会、観光関連事業者 等)	外部ビック データ (周遊・嗜好)
4	◆スタンプラリー実施データを基にしたワークショップ スタンプラリーイベントで取得されたTIPSデータを分析し、 データを活用して「次の施策」につなげるためワークショップを開催 ○東・中・西の3ヶ所で開催(参加者:約60名)	TIPS データ (周遊・嗜好・ 決済)
5	◆観光データ活用・伴走支援 【課題】 県内市町・観光協会では、データを活用したい意向は あるが、知識・スキルがなく実際には活用出来ていない 【対応】 データ活用の専門家を市町等へ派遣し、ヒアリングを 実施しながら課題解決を進める、伴走支援を実施中 【対象市町】 熱海市、島田市、焼津市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、菊川市、東伊豆町 ◆スタンプラリー分析データを参加事業者へ配布	TIPS データ + 市町保有 データ

SHIZUOKA TRAVEL STAMP COLLECTING

実践

コロナ禍を経て、観光を取巻く環境は様変わりし、今後より一層、データの活用が求められます。
・庁内他部局・県内市町と連携した「TIPS」の利活用の拡大・データに基づくマーケティングの実施と人材の育成を県内全域で進め、
「誰もが幸せを感じられる観光地域づくりによる『心の豊かさ』と『持続可能な地域社会』の実現」(静岡県観光基本計画基本理念)を目指します。

(地図上の点)
令和4市接達証実験で収集された約90万件のTIPS操作データを1件すつGPS情報に基づき地図上にブロット